

教科目名 プロジェクト演習 (Projected Exercise)

学科名・学年 : 専攻科 1年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教官 : 藤原宏司

授業の概要		
<p>現代社会の中の身近な「サイエンス」を題材にして、総合的な英語力を身につけるための演習を行う。各チャプターは語彙、読解、要約、重要表現、文法、作文などの活動から成る。活動の多くは学生が主体的に発表するもので、教官はその補助や点検を行う。</p>		
到達目標		大分高専目標 (C2), JABEE 目標 (f)
<p>(1) 今までに身につけてきた英語力を駆使し、現代社会の抱える問題点を科学的に理解する。 (2) 科学技術英語を多く含む英文に慣れ、語彙を増やす。 (3) 自分の考えを簡単な英語で表現できるようにする。 (4) 英語の資格試験に挑戦し、自分なりに成果をあげる。</p>		
回	授 業 項 目	内 容
1	授業オリエンテーション	授業の進め方を説明する。
2	PART The Science of Food	第1章 食べ物のサイエンス
3	Chapter 1	Health Benefits of Eating Fish
4	Grammar and Activity	(魚と脂肪酸)
5	Chapter 2	Red Wine, the Magic Liquid
6	G + A	(赤ワインの秘密)
7	Chapter 3	Mad Cow Disease in Japan
8	G + A	(隠されていた狂牛病)
9	PART The science of IT	第2章 ITのサイエンス
10	Chapter 4	Losing our Privacy
11	G + A	(便利の裏に潜む危険)
12	Chapter 5	Cell Phone Radiation
13	G + A	(携帯電話波の恐怖)
14	PART The Science of the Future	第3章 未来のサイエンス
15	Chapter 6	Safer Driving through Technology
16	G + A	(酔っ払い運転よサヨウナラ)
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する
16	Chapter 7	Stress-free Driving
17	Grammar and Activity	(進化するクルマ)
18	Chapter 8	New Fuel for Rockets
19	G + A	(人糞でロケットを飛ばす)
20	PART Chapter 9	第4章 微小生物のサイエンス
21	G + A	Making a New Earth?
22	Chapter 10	(バクテリアで創る第2の地球)
23	G + A	Mites and Allergies
24	PART Chapter 11	第5章 人体のサイエンス
25	G + A	Sleeping and Dreaming
26	Chapter 12	(眠りのメカニズム)
27	G + A	Temperature at Birth
28	Chapter 13	(温度と性別)
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する
履修上の注意	<p>(1) 無作為抽選により発表してもらうので、十分な下調べをしておくこと。 (2) 各チャプターが終了した時点で自分の意見を発表してもらうので、考えをまとめておくこと。 (3) 英語の資格試験に積極的に挑戦すること。</p>	
教科書	小堂俊孝他, Science Makes Life Exciting, 成美堂	
参考図書		
関連科目	応用英語、資格英語 ・ 、英読文化 ・	
評価方法	最終成績 = 0.8 × (2回の期末試験の平均点) + 0.2 × (発表点)	